

# 留 学 報 告 書

記入日:2014年06月15日



所属学部／研究科・学科／専攻	文学部文学科フランス文学専攻
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: サンノゼ州立大学 現地言語: San Jose State University
留学期間	2013年8月～2014年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2014年6月5日
明治大学卒業予定年	2016年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬～12月中旬 2学期:1月下旬～5月下旬
学生数	約14,000人
創立年	1857年
特徴	芸術学部や教育学部が有名であり、多くの生徒が卒業後シリコンバレー企業に勤める。

留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料	18,487.93	1,943,266円	
宿舍費	10,389.00	1,091,988円	
食費	1,620.00	165,594円	
図書費		円	
学用品費	300.00	30,000円	
教養娯楽費		円	
被服費	2,000.00	204,470円	
医療費	50.00	5,000円	
保険費	1,550.00+702.00= 2,252.00	230,188円	形態:8H1(AIU)+留学先大学指定保険
渡航旅費	2,500.00 (往復)	255,516円	
雑費	6,000.00	613,410円	
合計		円	

## 渡航関連

渡航経路:成田空港-サンノゼ国際空港

渡航費用

チケットの種類	e チケット
往路	約 14 万円
復路	約 11 万円
合計	約 25 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

H.I.S(往路のみ)

取得したビザについて教えてください。

ビザの種類:学生ビザ(F-1)

ビザ取得方法:京王観光

その他渡航やビザ取得に関してアドバイスがあれば教えてください。

夏前などはビザ取得のため大変混むので、早目に予約しておくことをお勧めします。

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

大学キャンパス内の寮

2)部屋の形態

 個室 OR  相部屋(同居人数 4~6 人)

3)住居を探した方法:

留学会社を通じて寮への滞りが決まっていました。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

異文化が交じり合いながら生活することに慣れるには時間がかかりますが、現地の人とも仲良く慣れていい経験になりました。休日など暇なときに話し相手がいるといいと思うので、シングルルームよりもダブルルームをお勧めします。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった 利用した:キャンパス内に Health Center がありました。診察料は 1 回 2 ドルでした。

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

語学学校の先生に相談をしました。留学生用の事務室があるので、頻繁に利用していました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

サンノゼ州立大学の生徒全員が“My SJSU”という学校のホームページにマイページを登録しなければならず、何らかの事件があった場合には学校側から一斉送信で連絡が回りました。私自身は夜出かけていた時に携帯電話の盗難にあったので、すぐに現地の警察へ盗難届を出し、保険会社にも連絡をしました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネット接続が不安定で、月に数回ほどつながらないときがありました。しかし公共交通機関や学校はもちろん、近くのカフェやショッピングモールでは Wi-Fi に簡単に接続することができますし、学校のキャンパス全体にも生徒用の強力な Wi-Fi が飛んでいるため、連絡手段に困ることはありませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

キャッシュパスポートを作り、マスターカードのクレジットカードとして使用しており、親に入金してもらい使用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

衣服や生活用品はもちろん、日本食もすぐ近くにジャパンタウンがあり、現地で調達が可能なので困ることはないですが、夏でも朝晩はすごく冷え込むので、羽織りやコートは一着持っていきがいいと思います。また、ホームシックにかかることもあるので、家族や友人の写真、Skype などができるカメラなどは用意して持っていきがいいと思います。

## 進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ, 記入して下さい。
単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intermediate French Reading	中級フランス購読
科目設置学部・研究科	World Languages and Literatures
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Danielle Trudeau
授業内容	教科書に沿って、長文読解の日、文法の日が交互になっていました。講義はフランス語で生徒の発言もフランス語です。
試験・課題など	課題はフランスの社会問題や歴史的な問題がテーマのエッセーを書くことが多かったです。試験は文法 50%長文読解 50%でした。
感想を自由記入	現地の生徒は、文法についての知識よりも、フランスの社会問題など先生が提示したテーマについての意見をたくさん言える点が日本の学生とは異なる点だと思いました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
700b Grammar		700b 文法	
科目設置学部・研究科	English		
履修期間	秋学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 110 分が 2 回		
担当教授	Kim Green		
授業内容	教科書に沿って、論文などに使われる文法などを学んでいきました。口語では使われない英語なども教えてもらいました。		
試験・課題など	課題は毎授業教科書の問題を解くこと、試験は教科書の範囲内のペーパーテストでした。内容は難しいものではありませんでした。		
感想を自由記入	アジア圏の生徒は比較的他国に比べると文法が得意なので、上のクラスに行くとアジア圏の生徒かヨーロッパ圏の生徒が多いように思いました。語学学校はレベル別にクラスが別れていて、下は 100 から上は 800 まであります。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
700b Reading Skills		700b 読解	
科目設置学部・研究科	English		
履修期間	秋学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 110 分が 2 回		
担当教授	Liz Beacham		
授業内容	学問的な小論がたくさん集められたものが教科書として使われ、それらを読解していく授業です。		
試験・課題など	教科書から基本的に問題は出されます。		
感想を自由記入	授業中に自発的に発言をした方が先生に印象も残せるので、いいことだと思いました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
600b Oral Communication		600b オーラルコミュニケーション	
科目設置学部・研究科	English		
履修期間	秋学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 110 分が 2 回		
担当教授	Sara Wildman		
授業内容	学問的な内容のリスニングや TOEFL IBT 対策のために社会問題などをテーマにしたスピーキングの練習、ゲームを交えての会話練習などです。		
試験・課題など	課題はリスニングが多く、現地のニュース番組の一部を抜粋してメモを取り、問題に答えるものが頻繁に出されました。試験は文法の問題は比較的簡単でしたがリスニング問題が難しく感じました。		
感想を自由記入	個人的にスピーキングが苦手だったので、他の授業よりレベルを下げたクラスにしました。しかし、そのクラスの他の生徒は文法に関する知識があまりない人が多かったので、理解するのに苦しむことも多々ありました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
800 grammar		800 文法	
科目設置学部・研究科	English		
履修期間	秋学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 110 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	日本の学校では習わないような細かい文法について学びました。		
試験・課題など	筆記試験が合計で 4 回、プレゼンテーションが 1 回ありました。筆記試験は内容はかなりレベルが高いもので、プレゼンテーションは複雑な文法を生徒一人ひとりに範囲を振り分けられて、自分なりにプロジェクターを使用して説明するものでした。課題は教科書の問題や授業中に配られたプリントで、内容も難しいものでした。		
感想を自由記入	語学学校の授業はレベル別にクラス分けされており、800 のクラスというのは一番上のクラスで生徒数が少なく、発言する機会も多く、そしてハイレベルな授業内容と生徒に圧倒されたこともありましたが、最終的には自分でも考え、堂々と発言できるようになったので、上のクラスに入れたことをとても喜ばしく思っています。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Hospitality Management		ホスピタリティマネジメント	
科目設置学部・研究科	Hospitality Management		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Dr. Kate Sullivan		
授業内容	ホテルの経営について主に学びます。今学期では合計 2 回の Field Trip があり、Fairmont Hotel や Winchester Mystery House などへ生徒と教授で行きました。		
試験・課題など	オンラインで毎週小テスト、学期末試験を行いました。		
感想を自由記入	教授はとても優しく留学生に理解のある方で、生徒も発言が活発なども雰囲気の良いクラスだったと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Advertising		広告	
科目設置学部・研究科	Journalism and Mass Communication		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	John Delacruz		
授業内容	ポスターや CM などの広告に隠された社会問題や文化などを学びました。先生がプロジェクターに写真や映像を流したり、それを見て生徒とグループディスカッションをすることが多々ありました。		
試験・課題など	広告についてテーマが決められたブログを書いたり、グループで広告の社会問題についてまとめてプレゼンテーションをしたりしました。		
感想を自由記入	教授はイギリス出身で、英語が理解できないことがたびたびあり苦労しましたが、この授業ではグループワークが多々あり、友達作りしやすい環境にあったので、他の生徒に質問などをしたりして楽しく受講することができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Aerobics		エアロビクス	
科目設置学部・研究科	Kinesiology		
履修期間	春学期		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	実技		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	Ying Mitchell		
授業内容	先生に習い、最近の曲に合わせてながらエクササイズをします。激しいものからクールダウンまであり、筋肉や心拍数についてのポイントなども教えてもらいました。		
試験・課題など	中間試験は、エアロビクスの利点に関しての筆記試験で、期末試験はグループを作り自分たちでエクササイズを創作するというものでした。		
感想を自由記入	大学に入ってから激しい運動はしていなかったので、すごく楽しかったです。生徒はみんな堂々と体を動かし、恥ずかしがる様子がない点が日本と異なっていると思いました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Latin Dance		ラテンダンス	
科目設置学部・研究科	Kinesiology		
履修期間	春学期		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	実技		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	Bud Ayers		
授業内容	ラテンダンスの基礎を学ぶ授業です。男女でペアを組み、女子はローテーションで次々にペアを変えていくシステムでした。		
試験・課題など	中間試験、期末試験ともにペアを組み、約1分半のダンスを自分で組み合わせ、先生と生徒の前で発表しました。女子はドレス、男子はスーツを着るという本格的な決まりもありました。		
感想を自由記入	現地の生徒と一番コミュニケーションをとることができたのは、この授業だと思います。ペアになるのでマンツーマンで会話をすることができますし、友達を作る良い場であったと思います。		

留学に関するタイムチャート
---------------

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。(形式は簡条書きなど簡単なもので構いません)

2013年 1月～3月	・認定留学のための書類集め
4月～7月	・英語の学習 ・ビザ取得 ・留学会社によるオリエンテーション
8月～9月	・渡航準備 ・最終オリエンテーション ・留学先で夏学期開始
10月～12月	・中間試験 ・秋休み(1週間) ・期末試験 ・冬休み(1か月半)
2014年 1月～3月	・春学期開始 ・中間試験 ・春休み(2週間弱)
4月～7月	・春学期開始 ・期末試験 ・夏休み ・帰国
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	元から海外への興味があり、いつかは長期の留学をしたいと中学生の頃から考えていました。特に英語を喋ることへの憧れが強く、一年弱かけて海外で語学を習得できればいいなと思っていました。就職活動のことを考えると、大学2年時に留学するのが一番良いと考え、決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	耳を英語に慣れさせる努力を毎日取り入れると、現地に到着しても焦らずにリスニングできると思います。その反面、留学前にできるだけ自分で英語を喋る機会を作っておけば良かったと後悔することが多かったです。いざ喋る時、話したいことをうまく表せることができないことが初めは多々ありました。
この留学先を選んだ理由	サンノゼはシリコンバレーに近く、より洗練された教育を受けることができると思ったからです。また、サンノゼには facebook や apple、google の本社があり、魅力的に感じました。
大学・学生の雰囲気	堅苦しくなく、気楽に過ごせるような雰囲気を持っていると思います。現地の生徒も優しく元気な人が多いように感じました。
寮の雰囲気	不定期にパーティーが行われたり、サークルなどの団体が企画をして寮生限定のイベントなども行われたりしました。
交友関係	語学学校は世界中の国の人々と友達になる絶交のチャンスだと思います。大学の一般授業では現地の生徒と友達になることは難しく感じましたが、自分から積極的に話しかけてできる限りコミュニケーションをとるようにしたら、友達が自然と増えました。また、アメリカでは毎シーズンのイベントに頻繁にパーティーが行われるので、そこでも交友関係を広げることができたと思います。
学習内容・勉強について	授業の初めの方は、先生の言っていることが理解できずに戸惑う場面が多々ありましたが、数か月もすれば楽しく授業に参加することができました。キャンパス内に大きな公共図書館があるので、勉強をする際は図書館を利用する生徒がとても多かったです。半期に一回、留学生は無料で TOEFL(PBT)を受けることができるので、その対策もしていました。
課題・試験について	基本的に課題はクイズと呼ばれ、教室内で筆記で解いたり、オンラインで提出するような小テストがありました。授業によってはグループワークが多いものがあり、初めは発言するのに勇気が要りましたが徐々に慣れ始め、最終的には自分の意見を言えるようになったので良かったと思います。
大学外の活動について	留学生対象のパーティーが開かれることが頻繁にあり、ハロウィンパーティーやサンクスギビングデーなどはそのパーティーに参加しました。主催者と facebook 等の SNS で交流すると、次の集まりも呼んでくれるようになりました。
ある平日のスケジュール	8:00 起床 8:30-9:30 授業 9:30-13:20 課題・昼食・準備 13:30-17:00 授業 17:00-19:30 自由時間・夕食 19:30-23:30 課題・予習・自由時間 24:00 就寝
ある休日のスケジュール	9:00 起床 12:00-18:00 友達とショッピング 18:00-19:00 課題・予習 19:00-22:00 ルームメイトと夕食・課題 22:00-2:00 友達とおしゃべり 2:00 就寝
留学を志す人へ	留学のきっかけや志、留学生活中どのように過ごすかというのは人によって違いますが、漠然と毎日過ごすのではなく、何かしら目標を立てた方が毎日充実させることができると思います。初めは理想と現実のギャップに戸惑い、上手く物事を進めることができないこともあるかと思いますが、そのような困難にめげない強い心があれば、留学中どんなことがあっても楽しく過ごせるのではないかと思います。留学中充実させることができるかどうかは、周りの環境ではなく、自分自身だと思います。